

学生チャレンジプロジェクト SDGs活動



プロジェクト名:

災害対応ロボット研究プロジェクト

プロジェクトのターゲット目標(17項目)を○で囲んでください。

- | | | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| No.1 | No.2 | No.3 | No.4 | No.5 | No.6 |
| No.7 | No.8 | No.9 | No.10 | No.11 | No.12 |
| No.13 | No.14 | No.15 | No.16 | No.17 | |

【活動報告】

目標ナンバー

13「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

ターゲットナンバー

13.1「全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。」

具体的な取り組み

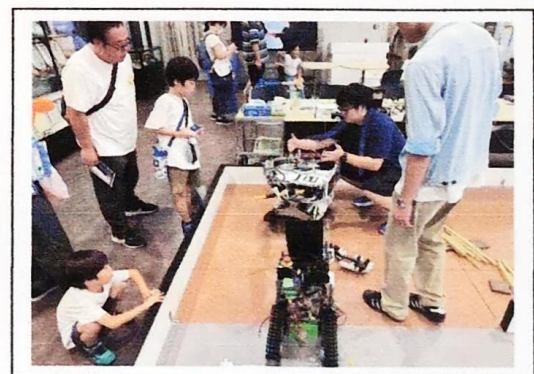
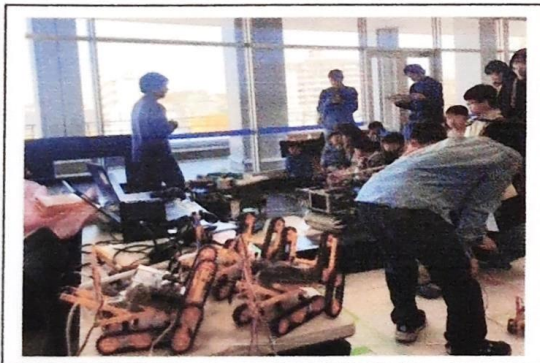
本プロジェクトは SDGsの目標 13「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」及び、ターゲットナンバー13.1に該当する取り組みである。

近年「異常気象」及び「地震」の発生頻度は上昇傾向にある。それに伴って生じる「被害の拡大」を軽減するために貢献できる事は無いかと考えた。その結果 1.「レスキューロボットの発展」、2.「イベント来場者に対するレスキューロボットの紹介」等の内容ならば貢献することができると考え、以下の内容の活動を行った。

活動内容

自分達で制作しているレスキューロボットに「災害現場においてこの機能があると良いのではないか。」と自分達で実際の現場で有用と考えられる機能の搭載、自作フィールド内における試用を実施した。

地域のイベント、競技会に参加した際にレスキューロボットの紹介を行う事で防災意識の向上を促し、災害における死傷者数を減らすことに繋げる。



団体紹介

実際の災害現場においてより安全かつ迅速な救助を行うため被救助者及び、操作側に必要な機能や特性を考えてロボットの製作、改善を行っている団体です。